



街路芝居の不入氣

一時紙芝居の熾なる時代には街路芝居として小供は勿論大供までがワイ〜と嘯して自動車や自転車の疾走を妨げ危険至極な街頭情景を呈した事だ、軍部の或方面では此紙芝居を利用して非常時間の意圖を徹底すべく努力したときへ傳へられさらでだに人氣のある紙芝居はいやが上にも流行を極めた。交通妨害も何のその警官まで知らぬ顔の半兵衛をきめこんだものだ。處が風の吹き廻しが何とか變じたものと見へ、兒童に親まれた紙芝居は窮民の小供に小遣の濫費を奨励するものだ紙芝居を征伐して街頭から驅逐して交通妨害を除去すると共

に小遣濫費防止をと目ざして敢然紙芝居不買同盟を結んで奮起したのが東京府南多摩郡園方村の少年少女團である。至極賞讃すべき運動である。(高雄生)

拂曉のペーブメン トの清掃か

過日汽車の内で見るともなしに見た大朝紙に次の如き記事があつた。ペーブメントの清滯ともなる希望意見で僕は双手をあげて賛成する。「愛犬家が犬の運動のため市内を引廻すのは早朝まだ一般民家の起床前或はその直後、或は夜など町内の閑散な時ならまだいゝとして既に市中の活動が始まつた時市の中央部では少からず邪魔になる。」

注 意

本欄は讀者諸氏の利用に提供す、治安と風俗とを害し又は人身攻撃に涉らざる限り奇想天外的の寄稿を望む、一文は四百字位にて取捨は編輯子に一任、原稿は道路の改良編輯部宛のこと。

ついで困るのはその引廻されてゐる犬が往來の眞ん中でも、板塀でも民家の門口でも容赦遠慮もなく用を足す、しかも引きつれてゐる人間はいつかう素知らぬ顔で犬の用足す模様をデツと見つめてゐる。

殊に犬は習慣がつき易い動物だから毎日一定の場所にくると必ず同じところで始めよる、私など朝起きたちに表戸を開くと目の前に温かさうなお土産が残されてゐるのは實に迷惑千萬である。わが家の前が犬の便所にされては全くたまつたもンぢやない。

市内通行の牛馬車には糞便處置の嚴しい取締規定があるので犬の飼育者にこの規定なきはまことに不都合極まることではない

か。

私の知人にも同じくこの被害者があつて、いつぞや用足しをしてゐる犬の飼主に注意したところ『相手は畜生ぢや出物腫れものところ嫌はずぢや』と逆襲され、おまけにその猛犬がワン／＼と吠えてかかつてきたのには開いた口が塞がらなかつたといつてゐた、敢て世の愛犬家各位の猛省を促したい(早起生)

世道人心の歸趣點

今回司法省の發表した神兵隊事件の全貌が如何に世人に驚駭を與へたか其の一味六十三名を算し目的は國家の革新に存し手段は襲撃放火爆弾投下殺人等直接行動に依るもので辯護士著述業者、新聞記者等も加盟して居るが一段と吾々を驚かしめたものは陸軍中佐安田某が参加し主要なる役割を受持つたことである。大正十五年秋關東大地震の際のどさくさまぐれに甘粕憲兵大尉

が大杉榮夫妻及無心な幼年宗一を殺し其死體を古井戸に投じたる事件以來暴力行爲を以て恐嚇主義を實行したる事件に屢々帝國軍人の参加したる事實は實に深憂を禁ざる能はざるものである。凡そ軍人は明治十五年一月四日の勅諭を尊奉することを誓ひたるが故に「公務の爲に威嚴を主とする時は格別なれども其外は務めて懇に取扱ひ慈愛を尊一と心掛け上下一致して王事に勤勞せよ。若し軍人たるものにして禮儀を紊り上を敬はず下を惠まずして一致の和諧を失ひたらんには當に軍隊の蠱毒たるのみならず、國家の爲にもゆるし難き罪人なるべし」との聖旨に反ることなきが帝國軍人の本領である然るに身軍人でありながら、國法を無視して敢て殺人行爲に出て而かも内閣總理大臣を官邸に射殺するが如き何たる不臣行爲であるか、今又神兵隊と自稱し國法の嚴然として存するに拘らず山口中佐は先づ飛行機に依つて警視廳及び閣議中の

首相官邸を空中から爆撃し地上部隊は警視廳、首相官邸、内大臣官邸、各政黨本部、勸業銀行等を襲撃し齋藤首相以下全閣僚を擧殺した上、政黨領袖、内大臣、財閥巨頭の暗殺等を決行し一方東京市内要所に放火して帝都を擾亂に陥れんと企てたるは軍人の本分を忘却したのみでなく國法紊亂の甚しきものである而かも血盟團五・一五事件の意圖を繼ぐものとして大に排斥しなればならぬ軍律の崩壞も驚くに堪へたる感がある。選舉肅正もだが軍紀肅正は更に重要にして急を告ぐる事件である。世道人心を何處に歸趣せしめんとするが政府當局者以て如何とす。(先憂居士)

交通整理の惱みを如何に

都市に於ける交通禍の頻年増加するのは憂ふべきことである。何とかしてよく交通が整理せられたらんと祈つて居る。當局者

も中々注意に注意を加へて信號機の完備に骨折られておるが今度北米合衆國オクラホマ市で考案された交通整理機は中々好成绩を擧げておるとの事である新聞紙の報ずる所に依ると、オクラホマ洲のオクラホマ市では市内の繁華なる道路上に澤山の自動車が混雑停車して交通巡查を悩ましてゐたが、今度當市に新らしく交通整理機が街の各角にデビューした。其の整理機はメーターに主要装置がしてあつて自動車駐車場所及び停車時間を制限する一限定時間を運轉手に知らすので、街角に設置されてゐてメーターの挺をねぢるとメーターの中にある青い旗が出る様になつてゐて、旗は一定時間の間自動車に旗はメーターの中に入る様になつてゐて交通巡查に自動車の置き過ぎかどうかを知らせ斯の如くして交通整理が行はれてゐる。 (徒歩生)

自轉車に依る交通事故の防止

- 自轉車乘りの横暴に因つて惹き起さるゝ交通事故は驚くべき程多いのであるが神戸三宮警察署では八月二十二日次の如き注意を自轉車乗者に配布した。「自轉車に乗られる方は自分の生命や身體を大切にし又他人に迷惑をかけずお互に安全明朗な都會生活を營む爲次の事柄を嚴重に守つて下さい。
- 一、道路の左側を一列に進行すること。
 - 二、小路から走り出ぬこと。
 - 三、自動車、電車の前後から横斷せぬこと。
 - 四、軌道上、疾行車道、歩道の上は絕對に進行せぬこと。
 - 五、大きな荷物(長〇・五米、幅〇・八米まで) 高い荷物(地上より一・五米まで) や重い荷物を積んで乗車せぬこと。
 - 六、停止線では左端に停り自動車の前方

に出ぬこと。

七、道路上に放置せぬこと。

八、自動車には進路を譲ること。

九、進路を變へる時は其の方の手を水平に揚げ後方の諸車に合圖をすること。

十、交通法則に違反して電車、自動車等と衝突しても損害金は貰へません交通法則を知らぬ事は都會生活をなす資格が一つ缺けてゐる事。」

と之れ實に結構なことであるが警察官の目がなければどんな乗り様でもする自轉車乗りだ。此注意の實行をどうするか、違背者はどしどし嚴罰を加へることとせねば中々効果は擧げられないと思ふ當局者は考案をめぐらしてもらひたい(南溟生)

道路の整備せざる都

市は都市にあらざ

産業上からも軍事上からも道路の整備を速行することの必須的企圖なるべきは敢て

言ふを待たない所であるが、東京市道路建設課長今井哲氏の意見（九月刊行工政）には至極共鳴する。其意見の結論にある一部をかゝぐると斯うである。元來都市を構成するものゝ内では何物よりも先づ道路であらねばならぬのであるが事實は屢々道路なるが故に後廻しにせらるゝ嫌があるのは遺憾である。都市計畫法は都市發展の指針であつて 其計畫道路を實施せしむるの力を伴はないのである。十億圓を要する都市計畫道路は之を議定して其實施に就いては放任である。而して都市の膨脹擴大に付ても法制は放任である。人口の増加は直に交通の危機を招來し世の識者と稱する士は頗に道路の不備を難ざるけれども道路事業費の過少なるを責むることを爲ないのである。

(Y O 生)

國體明徴は國憲の

尊重に在る

「國民は憲法學說を知らないでも信念に依

つて既に國體の尊嚴を知つてゐるのであつて機關説が出て來る前からさうであつた様に機關説が出て來た後でも何等その信念に變りはないのである。即ち國體は三千年來明徴であり、學說によらず、信念確信によつて國民の心の内に打ち建てられて動ないのである。此意味に於て一般國民は機關説の如き學說によつて確乎不動の國體が動き國民精神が迷はされてゐるかの如き言説運動の方を却つて不思議と感ずる位のもではないかと思ふ」と東朝子は論じて居るが實に確當な意見である。足利尊氏を好愛すると云ふ論者があつても楠正成の忠臣たることは否定せられない、數十年間學園に在つて憲法條項の説明として機關説を述ふる學者があつても夫れに依つて變化を與へらるゝ程淺薄なものでないのが國體に對する我帝國民の確信である。思ふて學はざる徒が徒らに言説運動を起さなくても國民的確信は動搖を來たさないことは已往の事實に

徴して明瞭である帝國議會での美濃部博士の意見が誘致の動機となつて告訴事件まで發展したので初めてハツと氣が付て國體明徴を論ずる者も少くない。共產主義や共和政治の如くハツキリと我國憲を否定するものに對しては國民的運動を起してまでも之が絶滅を爲さねばならぬことは勿論であると思ふ。又東朝子は「皇道維新による國家革新を言ふ者が憲法停止の戒嚴狀態誘發を試みんとし、其誤れる國家革新の熱情に同情する者が現代政治の腐敗に憤慨するの餘り憲法尊重の念を忘れて國憲に違ひ國法を輕んずるが如きことは保し難い。此の如きは帝國憲法の性質に顧みて國體明徴に反することの甚しいのである」と論ずる處も大に共鳴する意見である。彼の五・一五事件や血盟團事件は勿論神兵隊事件の如き其精神に於ては敢て斥くべきものでないにしても目的の爲に其手段を撰ばずして國憲を無視するが如きは我國民として斷じて許すべからざる所業である斯の如き兇險なる思想は絶對的に勦滅しなければならぬと信ずる。

(山玉生)